



2016-17 年度 高まる財団の重要性

地区チーム研修セミナー (DTTS) を前にガバナー補佐や地区総括委員長との研修と懇親を兼ねた「国際協議会報告と地区目標」の発表会が2月13日、筑波山で開催されました。



挨拶の中で白戸仲久ガバナーエレクトは1月、サンディエゴでの国際協議会にふれ「次年度は財団100周年の年ということで財団支援の話が多かった」と前置きしたうえでDDF20%をポリオ寄付、年次基金寄付5%アップ等が財団に関するRIの目標と語りました。

第2分区IM 地区補助金事例発表

第2分区のIMは、清水貞一ガバナー補佐の「地域社会への贈り物になろう」とのテーマで2月11日、ひたちなか市で開かれ、財団地区補助金で実施した各クラブの奉仕事業の事例発表が行われました。3年目で地区補助金の活用と理解が向上し、各クラブが有意義に地域社会に根ざした奉仕活動をしていることがこのIMでも実証されました。参加者の1人は「ロータリーの公共イメージアップにもつながっている」と感想を述べました。



3月のRIレートのお知らせ

3月 \$1=¥116

*レートは実際に入金された時のレートが適用されますので月末時には特にご注意下さい。

ポリオ症例数報告



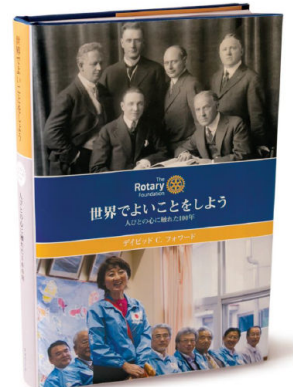
2016年2月24日現在のポリオ症例数です。現在、ポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタンの2カ国です。

	国名	2016年1月～2月24日	2015年(通年)
常在国	パキスタン	2	54
	アフガニスタン	0	20
常在国以外	ナイジェリア		
	イラク		
	赤道ギニア		
	エチオピア		
	カメルーン		
	シリア		
	ソマリア		
	世界合計	2	74

上記症例数は世界ポリオ撲滅推進計画 (GPEI) に報告されている野生株ポリオ症例数です。

ロータリー財団百年史のご案内

多くの歴史的事実が織り込まれた財団の100年誌『世界でよいことをしよう：人々の心に触れた100年』が発刊されました。100年前、わずか26ドル50セントの寄付から今や世界的な人道奉仕団体にまで成長した財団の軌跡を数々の写真と共に紹介されています。



- ロータリー財団百年誌：革装丁限定版 \$ 100
 - ロータリー財団百年誌：クロス装丁 \$ 40
- ご注文先は国際ロータリー日本事務局 資料室
TEL) 03-5439-5802 FAX) 03-5439-0405

第2分区 IM 地区補助金活用報告



那珂湊 RC ; 「公共イメージと認知度の向上」のため、那珂湊中学で「人生の先輩の話を聞く会」を実施。湊公園に時計塔を設置し、その時計塔の周りを地元小学生とともに除草作業を行いました。

常陸太田 RC ; 常陸太田市内の小中学校を中心に、環境調査の目的で、夏冬の星空観察会を「常陸太田天文同好会」とともにを行っています。

観察機器として、双眼鏡を寄贈しました。

「見上げてごらん夜の星を」みんなで合唱するという楽しい事業報告でした。

大子 RC ; 地元保育園児とともに久慈川サケ稚魚観察、放流事業を行いました。

その中で、県内トップの高齢化、人口減少の町の将来を託すことを願い、サケのように故郷に帰ってきてほしいという願いを込めて、事業を行いました。

大洗 RC ; 「発達障害児の親子のための支援事業」(年五回開催)を継続7年間行っています。

このソーシャルスキルトレーニングにより、たくさん褒めて、自信を持たせ一人一人が役割を持ち、「人から必要としている」自分を実感し、友達を見つめ、受け入れることができるようにしています。

勝田 RC ; 2001年から障害者支援を始め、09年から職業訓練としてカメラ機材を贈呈して、撮影の指導を実施してきました。

その結果2年連続で「全国特別支援学校知的障害者教育校長会賞」受賞しました。

また、その写真を市民にも見たいいただくため、写真展を開催し、今年度は茨城大学をも巻き込んだ事業を行っています。

東海那珂 RC ; 地域発展のため、「那珂ひまわりフェスティバル」「東海祭り」へ参加しました。

地域環境保全として、那珂市古徳地区のロータリーの森をインターアクト、地域自治会とともに草刈り

清掃作業や地域支援および基本的教育を目的として来日した外国人の日本語教育を行っています。

社会福祉支援としてチルドレンズホームおよび若草園において、グラウンド整備を行い、子供たちとのふれあいの機会を作りました。

ひたちなか RC ; 地域社会への社会貢献をテーマにしています。

まず、ひたちなか海浜鉄道の支援を地元の自治会と駅周辺の美化運動を行い、市から奨励賞を受賞しました。

また、勝田養護学校の支援を長年続け、障害児の社会参加のお手伝いをしています。

そのなかで、太陽光、ガスボンベ式の発電機を寄贈しました。

ひたちなか国際交流協会を開設して、在住外国人の支援を行っております。

地区別年次基金寄付ゼロクラブ

ロータリー財団委員会は年次基金寄付ゼロクラブを目標にするよう呼びかけています。

地区財団委員会もこれに呼応して寄付ゼロクラブを無くすことを地区目標にしています。

当地区は3カ年寄付ゼロクラブ無しという実績を維持しています。

寄付ゼロクラブは地区の規定により地区補助金の申請ができません。

2016年2月26日現在、1クラブが未納です。

地区	クラブ数	地区	クラブ数	地区	クラブ数
2500	22	2620	13	2740	25
2510	21	2630	6	2750	8
2520	26	2640	22	2760	6
2530	25	2650	4	2770	4
2540	17	2660	9	2780	11
2550	10	2670	17	2790	15
2560	8	2680	8	2800	1
2570	0	2690	9	2820	1
2580	8	2700	17	2830	7
2590	2	2710	8	2840	5
2600	5	2720	25	計	412
2610	21	2730	26		